

## 議案1号：平成26年度事業報告および決算報告 ならびに監査報告に関する件

### 概括

平成21年の設立以来、本会も6年度目を経過した。ラウンドテーブルの全体会合や視察会、有用資料の会員向け限定配布など、おおむね順調な活動を展開してきた。なお、調査研究活動の一部については繰り延べて取り組むこととなった。

### 1. 会議の開催

#### (1) 総会・理事会

年 月 日	内 容
2014年6月16日(月) (15:30-16:15)	<p>第1回通常理事会 場所：東海大学校友会館（霞が関ビル35階） 望星の間 議題：1. 議案1号：平成25年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件 2. 議案2号：平成26年度事業計画および収支予算案に関する件 3. 議案3号：役員を選任に関する件 4. 議案4号：新規入会会員の承認に関する件</p> <p>第1回通常総会 場所：東海大学校友会館（霞が関ビル35階） 望星の間 議題：1. 議案1号：平成25年度事業報告および決算報告ならびに監査報告に関する件 2. 議案2号：平成26年度事業計画および収支予算案に関する件 3. 議案3号：役員承認に関する件 4. 議案4号：新規入会会員の承認に関する件</p> <p>第2回通常理事会 場所：東海大学校友会館（霞が関ビル35階） 望星の間 議題：1. 会長・副会長の互選に関する件</p> <p>※ 第1回通常総会は、途中、第2回通常理事会の開催のため、一時中断、当該理事会終了後に再開。</p>

## (2) 幹事会

年 月 日	内 容
2014年5月28日(水) (15:00-16:30)	第1回幹事会 場所：(一社)海洋産業研究会事務所会議室 議題：1. 平成25年度委託調査結果概要 2. 平成26年度第1回および第2回通常理事会／通常総会、懇親会について ・平成26年度第1回および第2回通常理事会／通常総会、懇親会の全体概要 ・平成26年度第1回および第2回通常理事会／通常総会の議案(案) 3. 平成26年度の年間活動の検討 ・主な活動内容について ・その他
2014年10月15日(水) (13:30-15:30)	第2回幹事会 場所：(一社)海洋産業研究会事務所会議室 議題：1. 前回幹事会及び平成26年度理事会・総会等のご報告 2. 平成26年度の活動について ・ラウンドテーブル全体会合 ・サブテーブル ・調査研究委託 ・その他
メールによる審議	2014年11月7日(金) ・第10回全体会合開催における関係省庁へのご案内について 2014年11月28日(金) ・平成27年度理事会・総会の開催日程について 2014年12月4日(木) ・平成26年度の委託調査事業の進め方について 2015年2月17日(火) ・第11回全体会合の開催について ・平成26年度の委託調査事業の取組状況について

## 2. ラウンドテーブル等の開催

### (1) ラウンドテーブル全体会合

年 月 日	内 容
2014年12月8日(月) (15:30-17:00)	第10回海洋資源・産業ラウンドテーブル 場所：霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館・霞山の間 内容：以下のとおり I 大陸棚延伸を巡る課題 大陸棚限界委員会委員 海洋資源・産業ラウンドテーブル理事 浦辺 徹郎 氏 II SIP・次世代海洋資源調査技術における民間の役割 (独)海洋開発研究機構海底資源研究開発センター長 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクト長 木川 栄一 氏

2015年3月18日(水) (16:00-17:00)	第11回海洋資源・産業ラウンドテーブル 場所：東海大学校友会館・三保の間 内容：以下のとおり SIP課題「次世代海洋資源調査技術（海のジパング計画）」における海洋資源調査産業の創出の取り組み 次世代海洋資源調査技術研究組合 理事長 (株)地球科学総合研究所 常務取締役 河合 展夫 氏
--------------------------------	--

## (2) その他

年 月 日	内 容
2014年6月16日(月) (15:30-16:15)	平成25年度委託調査の要旨紹介 場所：東海大学校友会館（霞が関ビル35階） 内容：以下のとおり 「深海底鉱物資源開発動向調査」について 高知大学海洋コア総合研究センター センター長 徳山 英一 氏

## 3. 視察会等の実施

年 月 日	内 容
2014年9月29日(月) ～9月30日(火)	高知大学・海洋コア総合研究センター、住友金属鉱山(株)東予工場、別子銅山記念館への視察会 場所：高知大学・海洋コア総合研究センター、住友金属鉱山(株)東予工場、別子銅山記念館 参加人数：約20名

## 4. 情報受発信事業の実施

### (1) ホームページ/会員専用ページの更新

年 月 日	内 容
2014年6月18日(水)	・平成26年度の理事会・総会・懇親会資料を会員向けに公開
2014年9月16日(火)	・(株)フグロジャパン代表取締役社長・山野澄雄氏の特別寄稿『深海底鉱物資源開発の歴史と経済性に関する一考察』を会員向けに公開
2015年1月16日(金)	・平成26年9月29日(月)～30日(火)に実施した高知大学・海洋コア総合研究センター及び住友金属鉱山(株)東予工場等視察会の様子を会員向けに公開

### (2) 会員向けお知らせのメールニュースの配信

年 月 日	内 容
2014年6月18日(水)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員お知らせ」の配信 ・JAMSTEC・海底資源研究プロジェクト成果報告会開催 ・ホームページにて平成26年度の理事会・総会・懇親会資料を公開

2014年9月16日(火)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員お知らせ」の配信 ・(株)フグロジャパン代表取締役社長の山野澄雄様の特別寄稿 『深海底鉱物資源開発の歴史と経済性に関する一考察』のお知らせ
2015年1月16日(金)	「海洋資源・産業ラウンドテーブル会員お知らせ」の配信 ・山富二郎教授の最終講義が2月に開催、申込は今月末 ・内閣府/JAMSTECがSIPシンポジウムを開催

## 5. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等

年 月 日	内 容
2015年7月(予定)	国際海底機構 (ISA) の規則 (英和対訳・仮訳) の冊子発行 <<会員限定配布>> ・『深海底における海洋鉱物の探査に起因して起こりうる環境影響の評価に関する契約者向け指針に係る勧告』

## Ⅱ. 決算報告

### 1. 平成 26 年度収支計算書（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	決 算 額	差 異	備 考
収入の部				
1 会費収入	10,500,000	10,300,000	200,000	正会員・団体会員 20万円 x 50口、 独法10万円 x 3口
(1)会費	10,500,000	10,300,000	200,000	
(2)特別会費	0	0	0	
2 事業収入	0	0	0	
(1)事業収入	0	0	0	
3 雑収入	2,000	52,034	△ 50,034	
(1)受取利息	2,000	3,034	△ 1,034	
(2)雑収入		49,000	△ 49,000	
当期収入合計 (A)	10,502,000	10,352,034	149,966	
支出の部				
1 会議費	3,000,000	2,956,987	43,013	委託事業・継続 検討中
2 調査研究費	3,500,000	811,353	2,688,647	
3 印刷費	1,500,000	714,602	785,398	
4 通信費	200,000	71,001	128,999	
5 事務局業務費	2,500,000	2,500,000	0	
6 雑費	50,000	123,336	△ 73,336	
当期支出合計 (B)	10,750,000	7,177,279	3,572,721	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 248,000	3,174,755	△ 3,422,755	
前期繰越収支差額 (D)	14,022,503	14,022,503	0	
次期繰越収支差額(E)=(C)+(D)	13,774,503	17,197,258	△ 3,422,755	

2. 貸借対照表（平成 27 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	19,841,978	18,694,448	1,147,530
未 収 金	0	0	0
流 動 資 産 合 計	19,841,978	18,694,448	1,147,530
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
特 定 資 産 合 計	0	0	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産 合 計	0	0	0
固 定 資 産 合 計	0	0	0
資 産 合 計	19,841,978	18,694,448	1,147,530
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	2,644,720	4,671,945	△ 2,027,225
そ の 他	0	0	0
流 動 負 債 合 計	2,644,720	4,671,945	△ 2,027,225
2. 固 定 負 債			
固 定 負 債 合 計	0	0	0
負 債 合 計	2,644,720	4,671,945	△ 2,027,225
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	17,197,258	14,022,503	3,174,755
正 味 財 産 合 計	17,197,258	14,022,503	3,174,755
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	19,841,978	18,694,448	1,147,530

3. 正味財産増減計算書（平成27年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費	10,300,000	9,900,000	400,000
特 別 会 費	0	0	0
事 業 収 入	0	0	0
雑 収 入	52,034	41,652	10,382
経 常 収 益 計	10,352,034	9,941,652	410,382
(2) 経常費用			
事 業 費			
会議費支出	2,956,987	2,839,936	117,051
調査研究費支出	811,353	2,596,397	△ 1,785,044
印刷費支出	714,602	428,077	286,525
通信費支出	71,001	53,610	17,391
事務局業務費支出	2,500,000	2,500,000	0
雑費支出	123,336	17,115	106,221
経 常 費 用 計	7,177,279	8,435,135	△ 1,257,856
当 期 経 常 増 減 額	3,174,755	1,506,517	1,668,238
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	3,174,755	1,506,517	1,668,238
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	14,022,503	12,515,986	1,506,517
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	17,197,258	14,022,503	3,174,755
II. 正味財産期末残高	17,197,258	14,022,503	3,174,755

## 監 査 報 告 書


海洋資源・産業ラウンドテーブル  
会 長 佃 和 夫 殿

平成26年度の事業報告および決算報告について監査したところ、いずれも適正かつ妥当であることを確認しました。


平成27年 6月23日

海洋資源・産業ラウンドテーブル

監事

田畑 日出男 

監事

中田 喜三郎 



## 議案2号：平成27年度事業計画および収支予算案の承認に関する件

### I. 平成27年度事業計画（案）

設立以来7年度目となる本年度の活動については、設立の趣旨である、「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを再確認し、克服すべき諸課題を明らかにしつつ、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界の間の交流を一層深めるとともに、必要な情報を広く発信していくよう努める。

#### 1. 会議の開催

平成27年度内に、総会を1回、理事会を1回以上、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

#### 2. ラウンドテーブル等の開催

平成27年度に数回のラウンドテーブル（全体会合）を開催する。その他、必要に応じて、適宜、会合を開催する。

#### 3. 視察会等の実施

平成27年度に、海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、鉱山関係あるいは研究施設等を対象に、数回の視察会を実施する。

#### 4. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有を図るほか、外向けに関連情報の収集および情報発信等を行う。

- ・ 活動内容の記録や調査研究成果をはじめとする有用資料等の発行・配布
- ・ 会員保有技術の情報共有・提供
- ・ ホームページ／会員専用ページの更新
- ・ 会員向けお知らせのメールニュースの配信
- ・ その他、関連する情報受発信活動

#### 5. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等（委託）

多角的な立場・視点から情報及び意見交換、さらには必要な調査・研究活動を行う。

- ・ 海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全の把握
- ・ 国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布
- ・ その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

#### 6. その他、目的を達成するために必要な事業の実施

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・ 事業活動に関する会員の意向調査等の実施
- ・ 事業活動の拡大に伴う委託事業等の拡大

## Ⅱ. 平成 27 年度収支予算案

(単位:円)

科 目	平成27年度 予算	平成26年度		備 考
		予算額	決算額	
収入の部				
1 会費収入	11,000,000	10,500,000	10,300,000	
(1)会費	11,000,000	10,500,000	10,300,000	(H27年度目標)正会員・団体会員:20万円 ×52口、独立行政法人会員:10万円×6口
(2)特別会費	0	0	0	
2 事業収入	0	0	0	
(1)事業収入	0	0	0	
3 雑収入	32,000	2,000	52,034	
(1)受取利息	2,000	2,000	3,034	
(2)雑収入	30,000	0	49,000	主催行事参加費収入等
当期収入計(A)	11,032,000	10,502,000	10,352,034	
支出の部				
1 会議費	3,500,000	3,000,000	2,956,987	会場借用料等
2 調査研究費	3,500,000	3,500,000	811,353	謝金、作業費、委託費、視察会費等
3 印刷費	1,200,000	1,500,000	714,602	小冊子、調査報告書等
4 通信費	200,000	200,000	71,001	
5 事務局業務費	2,700,000	2,500,000	2,500,000	(消費税200千円含む)
6 雑費	50,000	50,000	123,336	
当期支出計(B)	11,150,000	10,750,000	7,177,279	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 118,000	△ 248,000	3,174,755	
前期繰越収支差額(D)	17,197,258	14,022,503	14,022,503	
次期繰越収支差額(E)=(C)+(D)	17,079,258	13,774,503	17,197,258	

議案3号：理事の交代に関する件

下記のとおり、理事の交代の申し出を承認する。

(順不同・敬称略)

新任

退任

日本鉱業協会会長  
大井 滋

日本鉱業協会  
宮川 尚久

深海資源開発(株)取締役社長  
島田 和明

深海資源開発(株)  
高原 弘榮

—

総合資源エネルギー調査会  
三村 明夫

(公社)日本船舶海洋工学会会長  
原 壽

(公社)日本船舶海洋工学会  
大和 裕幸

日本郵船(株)代表取締役専務経営委員  
長澤 仁志

日本郵船(株)  
山脇 康

以上



議案4号：新規入会会員に関する件

以下の新規入会申込みを、承認する。

〔正会員〕

(順不同)

クニミネ工業株式会社  
日揮株式会社

・・・2会員

〔独立行政法人会員〕

国立研究開発法人港湾空港技術研究所

・・・1会員

〔個人会員〕

(順不同)

佐古田 彰	小樽商科大学商学部教授
高橋 重雄	国立研究開発法人港湾空港技術研究所理事長
葉室 和親	元外務省
村山 雅史	高知大学海洋コア総合研究センター教授
渡邊 啓介	東海大学海洋学部准教授
渡辺 喜保	東海大学海洋学部客員教授

・・・6会員

(参考)

JFE エンジニアリング株式会社      4月 1日に遡り退会

以上

## クニミネ工業株式会社

- ・取締役社長 國峯 保彦
- ・所在地 〒101-0032  
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号  
TEL 03-3866-7251
- ・事業内容
  1. 鋳業
  2. 岩石および粘土類の採取加工ならびに販売
  3. 農薬・医薬品・医薬部外品・化粧品・動物用医薬品および動物用飼料添加剤の製造加工ならびに販売
  4. 土木・鑄造用資材の製造および販売ならびに施工
  5. 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装
- ・設立 1943年(昭和18年6月1日)
- ・資本金 16億1,780万円

## 日揮株式会社

- ・代表取締役会長 佐藤 雅之
- ・所在地 〒220-6001  
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番1号  
TEL 045-682-1111
- ・事業内容
  1. 各種プラント・施設に関するコンサルティング、事業計画、基本設計、詳細設計、機材調達、建設工事、試運転、オペレーション、メンテナンス
  2. 石油・ガス・資源開発、ユーティリティ事業に関する投資
  3. 技術サービス
- ・設立 1928年(昭和3年10月25日)
- ・資本金 235億1,118万9,612円